

## 第2回経営発達支援計画事業評価委員会 会議要旨

開催日時：平成28年2月23日(火) 13:30~14:42

開催場所：瀬戸内市商工会 2階会議室

委員総数：10名

出席者：7名（内部委員5名、外部委員2名）

出席者名：（外部有識者）

中小企業診断士 松本直也

瀬戸内市産業振興課 課長補佐 青山祐二

（内部委員）

瀬戸内市商工会副会長 福崎 勇

〃 経営支援事業副委員長 藤井雅司

〃 地域振興事業委員長 山口卓男

〃 地域振興事業副委員長 神坂俊規

〃 女性部長 岡竹時江

（事務局 4名）

### 1 開 会

岡本事務局長が開会を宣し、福池幹夫委員長が都合により欠席のため、福崎勇副委員長が委員長代理に就任し協議に入った。

### 2 協議事項

#### （1）伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況について

議長は、「(1)伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況について」事務局に説明を求めた。

事務局（松本支援課長）は、経営計画支援資料及び伴走支援フォーマットを作成した松本経営株式会社 代表取締役 中小企業診断士 松本直也 氏から概要について説明していただく旨を述べた。

中小企業診断士 松本 氏は、「経営計画支援資料」、「伴走支援フォーマット」について資料に基づき概要の説明をおこなった。

続いて、事務局（松本支援課長）は、「伴走型小規模事業者支援推進事業」の実施状況について作成した「経営計画支援資料」、「伴走支援フォーマット」を活用し特に支援の実施が必要であると思われる15事業所を選定、支援をおこなった旨と支援結果の概要について説明をおこなった。

併せて、支援成果として以下の内容が確認できた旨の報告をおこなった。

- ・複数の指導員で得意分野を活かしたチームによる支援ができる。
- ・成功事例の共有で経営指導員個々の支援力の底上げが期待できる。
- ・若手指導員の育成につながるとともに経験不足を補った支援ができる。
- ・人事異動等の際、切れ目のない支援が可能になる。
- ・急な補助金公募の応募支援にも対応しやすい。
- ・経営革新承認申請、専門家派遣等の活用においてヒアリングが簡素化できる。
- ・各種制度の活用などにおいて適切な提案が行える。

議長は、出席者に質疑を求めた。

<質疑応答・意見交換>

青山課長補佐：貴重なデータなのでまちづくりにおいても活用したい。

藤井委員：瀬戸内市の弱いところはさらに弱くなり、強いところは一層強くなるような結果と見られるが、どのように取り組んでいくのか。

事務局（松本）：この度の取り組みはまちづくりや地域活性化というよりも個者支援に重点を置いたものである。

藤井委員：商工会のこれらの取り組みを早めに会員事業所へ伝えて、会員とのやり取りを密にして、効果的な実施を行っていただきたい。

福崎議長：人口減少など改めて数字で見ると危機感を感じる。

松本中小企業診断士：しかしながら、岡山県の他の商工会地域に比較すれば比較的に緩やかである。

福崎議長：瀬戸内市は住みやすく環境が良いとも言われている、経営発達支援計画をはじめ多様な取り組みを、行政とも連携を図りながら実施し一層、地域の魅力を上げていく必要がある。

青山課長補佐：人口減は非常に大きな課題である。

松本中小企業診断士：これらの資料は作って終わりではない。支援にぜひ活用していただきたい。瀬戸内市は人口が減るといっても大幅ではないが、消費は地域外に多く流出している。もっと地元で消費する仕組みづくりが必要であり、商工会の大きな支援テーマであると考えます。

福崎議長：地域で消費を増やすことは我々の課題である。しっかり取り組んでいきたい。

神坂委員：これらの事業所が活用した補助金は今後またあるのか。

事務局（松本）：小規模事業者持続化補助金については今月公募が開始される予定になっている。

藤井委員：たくさんの会員が活用できるように会員とコミュニケーションをとって欲しい。

神坂委員：業績が伸びた成功事例と、残念ながらそうでないところの原因のどちらも有効な資料として同業他社の今後の指導に活かして欲しい。

## (2) 平成 28 年度経営発達支援計画に基づく実施事業について

議長は、「(2)平成 28 年度経営発達支援計画に基づく実施事業について」事務局に説明を求めた。

事務局（松本支援課長）は、資料に基づき以下の事業に取り組んでいく予定である旨の説明をおこなった。

### I 経営発達支援事業

- ①地域経済の動向調査及び分析
- ②小規模事業者の経営状況の把握と分析
- ③事業計画の策定支援
- ④創業塾の開催による支援
- ⑤経営革新に関する支援
- ⑥事業計画策定後のフォローアップ

### II 地域経済の活性化に資する取組み

- ①瀬戸内市地域活性化協議会の設置及び協議

### III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

- ①他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する  
こと

②経営指導員等の資質向上等に関すること

③事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

議長は、新規事業ということもあり手探りのなかで実施しているが、商工会も時代の流れに沿った事業を展開する必要がある。そのためにも小規模事業者の支援において瀬戸内市をはじめ他団体との協力を深めながら取組んでいきたいと思うと述べた。

議長は、その他の意見を求めたが、特に意見はなく以上をもって協議を終了する旨を述べた。

福崎 勇 副委員長が閉会を宣した。時に14：42であった。